

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)	部局名	市民部
款	項	目			課 名	地域協働課・多様性社会推進課
2	1	8	地域活動推進費	158		

I：事業概要

施策事業名	市民活動支援
事業目的	5年ごとに行う協働のまちづくり基本条例の検証、見直しに着手し、協働のまちづくりを推進する。 また、男女共同参画の実現に向け、個性が活きる社会の普及啓発を行う。
事業内容	●事業の全体計画 ・協働プラザを中核として、下記事業を実施し、協働のまちづくりを推進する。 ①団体等に対する情報提供、相談・助言、資金助成などの支援 ②多様な地域資源の情報を発掘、整理し、地域の課題解決や魅力創出に向けたコーディネート ③多様な主体によってまちづくりを実践していく共創空間の運用 ・協働のまちづくり基本条例を定期的に検証し、必要に応じて見直しをする。 ・犬山市男女共同参画推進指針に基づき、普及啓発事業を実施する。 ●主な事業内容 ・協働プラザでの情報提供、相談・助言、コーディネート、共創の場づくり、地域活動の担い手育成 ・協働のまちづくり基本条例の検証、見直しを行うための市民ワークショップの開催 ・市民活動団体からの企画提案事業に対する資金助成 ・男女共同参画に関する啓発事業の実施 ●主な決算の内訳 ・協働プラザ運営業務委託料 14,695,000円 ・市民活動助成金 1,020,000円
事業の成果・効果	・協働プラザの運営は2期目となり、社会的な活動の支援・促進及び多様な主体の協働を推進する事業を実施するとともに、新たな仕様で事業を展開し、地域活動の担い手や、地域資源をオンラインで活用する人材の育成を行うことができた。 ・犬山市協働のまちづくり基本条例の検証を行うことができた。 ・男女共同参画推進事業としては、男女共同参画、ジェンダー等をわかりやすく解説した講座を開催し、参加者の男女平等やジェンダーに関する意識を向上させることができた。

II：個別事業内訳 (単位：千円) (見直し・点検進捗評価は4段階)

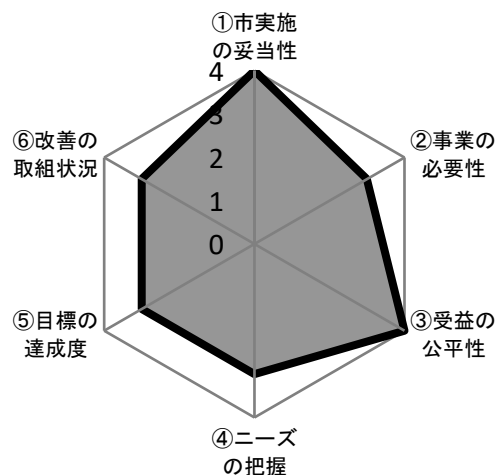
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
市民活動・協働推進	16,786	680	16,106	96%	4	4	4
男女共同参画推進	439	0	439	100%	3	3	3
市民活動支援基金積立金	1	1	0	0%	2	2	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	17,226	681	16,545	96%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		12,808	17,226	18,792
財源内訳	国県支出金	5,955	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	447	681	1,203
	一般財源	6,406	16,545	17,589
一般財源の割合		50%	96%	94%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	犬山市公益的活動の支援及び市民参加に関する条例及び男女共同参画社会基本法により、市が主体となって行う必要がある。
②事業の必要性	3	共助の市民協働社会を形成するために必要な事業である。
③受益の公平性	4	市民一人ひとりが様々な形で役割を担っていく社会を推進していく事業であるため、全市民が対象である。
④ニーズの把握	3	事業実施時には必ずアンケートを実施し、対象者のニーズを把握している。
⑤目標の達成度	3	概ね達成できたが、更なる協働のまちづくり推進のため、今後は市民活動の支援と並行して地域活動の支援についても取り組んでいく。
⑥改善の取組状況	3	協働プラザを拠点とした人材育成等の取り組みにより新たな活動の芽が出てきており、今後も継続的な取り組みが必要である。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	犬山市協働のまちづくり基本条例について、広く市民参加の機会を設け、条例の趣旨の確認と現状についての検証を行った。また、市民活動助成金制度については、助成部門の内容を中心に見直しを行った。
令和6年度に見直しを実施している事項	犬山市協働のまちづくり基本条例の検証の結果、条例に基づいた具体的な取り組みが必要との結論から、既存の活動団体に加えて、近年活性化している学生や企業の社会貢献活動等との連携の可能性について模索していく。
今後見直しを検討する事項	市民活動支援基金の運用について、取り崩しを続けていることから、そのあり方について検討していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
市民活動支援基金の運用のあり方。	市民活動支援基金の運用については、寄付を通じた社会貢献の普及啓発も含め、公益的活動促進委員会にて議論を行っていく。